

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「写真によるまちおこし」事業
事業主体 (連絡先)	浅間国際フォトフェスティバル実行委員会 北佐久郡御代田町大字馬瀬口 1794-6 (御代田町役場企画財政課地域振興係)
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,117,228 円 (うち支援金 : 4,143,000 円)

事業内容

しなの鉄道御代田駅舎の屋外展示
御代田駅の利用促進につなげるため、御代田駅舎に大小さまざまなサイズの写真を屋外展示する。

- ・しなの鉄道御代田駅舎
- ・7月26日～10月1日

エコールみよた敷地内写真展示

御代田の風光明媚な風景、農作業の様子、季節によって姿を変える浅間山等、町民が普段から利用する施設敷地内に展示し、シビックプライドの醸成、町外には、御代田の素晴らしさをしらしめる。

- ・エコールみよた敷地内 (屋外広場エリア)
- ・7月26日～10月1日

事業効果

- ①アート写真に触れたことで、写真の新たな発見や関心が生まれ、写真文化の振興につながった。
- ②平成29年度と比較して、8月1か月で、定期外(きっぷ)旅客1,346人増。1日あたり43人増。特に軽井沢からの旅客が8月1か月で1,487人増。1日あたり47.9人増となり、しなの鉄道の利用促進につながった。
- ③のべ2万人以上の入込数があり、撮影や敷地内を散策している鑑賞者が多く見られた。エコールみよたの博物館への8月の入館者数も昨年比千人以上も増加しており、開館以来過去最高となった。交流人口の増加により、町の活性化が図れた。

今後の取り組み

平成30年度実施した「写真によるまちおこし」事業を軸に、しなの鉄道の御代田駅舎に写真の展示箇所を増やし、更なる利用促進につなげるとともに、「御代田町＝写真のまち」が定着するよう、町中に写真展示をしていきたい。今後もまちの活性化が図られるよう、事業を拡大し展開していきたい。



【御代田駅屋外写真展示の様子】



【エコールみよた敷地内写真展示の様子】

【目標・ねらい】

- ①写真文化の振興
- ②御代田駅の利用促進
- ③交流人口増加

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・しなの鉄道の利用客数が昨年と比較し、千人以上増加。
- ・写真を鑑賞する観光客が増え、博物館への入館者数も過去最高となった。